

ICT推進チームの設置について

平成29年6月13日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「ICT推進チーム」を6月1日に設置しましたので、お知らせいたします。

ICT推進チームは、ICT（Information and Communication Technology）を活用した研究開発を鉄道総研として統一的、体系的、かつスピーディに行うための戦略と実行計画の策定を目的とするものです。

ICT推進チームは、平栗研究開発推進部次長をリーダーとし、メンバーとして関係の主管研究員、研究部長、および研究室長、スーパーバイザーとして熊谷理事長、芦谷理事、古川研究開発推進部長で構成されます。さらに、同チームのメンバーをチーフとする3つのサブグループ（センシング、情報通信・制御、データ分析）を設置しました。

このたび、推進チームとサブグループの第1回合同会議を6月9日に開催しました。会議では、スーパーバイザーの熊谷理事長の挨拶の後、ICTの活用対象と研究開発課題として、列車運行に関連して、安全性や安定性の向上、自動運転、省エネルギーなどが、設備メンテナンスに関して、自動化されたモニタリングを活用した高度な状態監視保全などが挙げられました。また、基盤技術としてデータの共有や活用技術なども重要な技術として挙げられ、これらの実現のために鉄道総研が果たす役割などに関して、活発な議論が行われました。

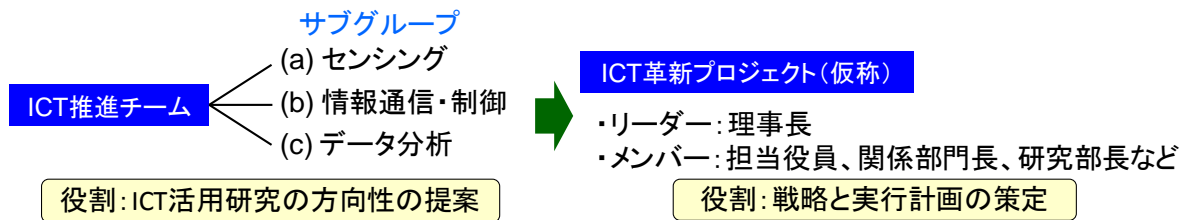
ICTの活用対象と研究開発課題の例

活用の対象		研究開発課題の例
列車の 運行	安全・安定	・リアルタイム安全制御 ・ヒューマンエラーの防止
	自動運転	・リアルタイム運行制御
	省エネルギー	・地上-車上の連携制御
設備メンテナンス		・高度な状態監視保全
基盤技術		・ビッグデータ分析やAIによる判断、予測支援

ICT推進チームでは、ICT活用の研究開発の方向性の提案を行います。次の段階として、推進チームでの提案にもとづいて、9月以降にICT革新プロジェクト（仮称）を設置して、研究開発の戦略と実行計画を策定します。また、研究開発の実施にあたっては、先端技術を持つ大学等の外部機関との連携も進めていきます。

【理事長挨拶概要】

ICT活用の研究開発については、個々の技術分野では、これまでも取り組んできており、ノウハウを蓄積してきている。新たなICT活用の研究開発の推進にあたっては、鉄道総研のノウハウをひとつに集中させる必要がある。鉄道システムは既存のインフラで構成されているが故に、革新的な技術を導入する際には課題が生じている。そのため、ICTを活用することにより従来のシステムを超えた鉄道を創造する可能性を含んでいる。そこで、戦略を着実に策定し、新しい鉄道システムの構築を支援するために実行力を発揮していこう。



ICT推進チーム、ICT革新プロジェクト（仮称）の役割

【ICT推進チームの構成】

リーダー：研究開発推進部次長

メンバー：研究開発推進部 主管研究員

電力技術研究部長

軌道技術研究部長

防災技術研究部長

信号・情報技術研究部長

信号・情報技術研究部 運転システム研究室長

鉄道力学研究部長

人間科学研究部長

研究開発推進部 主査（事務局担当）

スーパーバイザー：理事長、研究開発担当役員、研究開発推進部長



写真 第1回合同会議